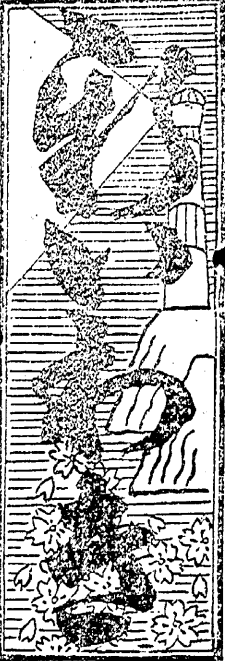


刊夕日三十月六



発行所 福島縣平町大町五
新いけき新聞社

座講識常

コメンタリーはコメン
タルと同一意味で露
西亞のコムニスチ
チエスキ、インテ
ルナショナルの異名
際共産黨のこと第三
ンターナショナルの革
命主義を奉ずるもの、
二四（以上）

三堀検事出張して

選挙違反の取調べ

今日平署に關係多數を召喚
事件いよく擴大の模様

平町に於ける町會議員選挙の
違反告訴は別項にも所載の如
く數日來平署に於て調査中
あつたが愈々本格的な取調べ
を開始され本十三日朝來平檢
事局から三堀検事同署に出張
もつものらしいと云はれて
司法主任室を堅くとして正
午過ぎまで關係者十數名の聴
取を行ひ順次歸宅を許されて
あるが事件は益々展開するも
のを見られてゐる尙ほ當日呼
出された人々の模様では同
町東部方面の新議員に關係を
もつものらしいと云はれて
ある傷もつ人々に非常な戦慄を
與へてゐる

選挙の廓清が目的

共同で違反さるがし

落選側の一部が其所に會合して
不淨掃さうに當る申合せ

平町選挙に於て落選したる
一派が當選者の中に不正ある
を唱へ選挙浄化の爲めと稱し
て違反の事實を探してゐるこ
とは屢報の如く無産黨の一味
から新町選二名の關係者に買
収の事實ありとして告訴され
てゐるが更に落選同志の一部
に於て此の程某所に會合し極
力不淨掃蕩に當らうとの申合
てゐる

石城産馬で本年秋

繁殖牝馬の品評會

産駒維持から更に生産増加へ
競争心を捕へる向上策

石城産馬組合では現在母馬二割を減じて八百頭内外となる
千百余頭で年産駒二千頭を數
出駒の維持から更に生産増加
ふるも春の繁殖期までに約二
を計るため從來會て試みなか

つた繁殖牝馬成績品評會を上
川技師の考案で本年秋に開催
される同豫算は千四百圓で農
林省から三分の二の補助を受
け各飼養家の競争に産馬の向
上を期さうとしてゐる出陳馬
資格は當才の仔馬付に限り配
合の適否並に遺傳を主なる條
件として審査の結果
一等三十圓(五頭)、二等二
十圓、三等十五圓、四等十
圓(以上數頭から數十頭)
の賞品を授與することになつ
てゐる開催期は十月中に撰ん
だのは飼養管理に最も容易な
放牧中を以て馬匹が自然に親
しむ牧野問題の研究資料とも
なるものともされ開催地は左
記の豫定であるが本年の試み
に於て相當の効果があらば之
れを毎年の行事とする意向で
あると

開催地舊多野、遠野、
開地、舊多野、遠野、

湯本町では昨十二日町議改
選を行つたが有権者二
千四百五十七で投票總
數二千三百三十一棄權
百十六開票の結果五十九票の
無効で當選者左の如し
一九二松繁一 一六六比
佐源造 一五八若松修一
一五三須藤隆雄 一四六生
田嘉清 一四三比佐賢司
一四三鈴木精美 一四〇鯨
岡源道 一八九大和田主馬
造 一七七吹庄司 一一
五上川才松 一一五高火晃
一一二木村徳三郎 八八鯨
岡賢司 八六渡邊長作 八
一小井戸大次 六七若松幸
平 ▲次點三八熊上作馬 一
一黒羽彌内 一比佐島平
一村上六平(以上)

田人、三坂方部三坂、澤渡
川前(以上)

日澤渡、大野、上川計一
四三 三十日小名濱、大浦
計一五七 三十一日四倉、
赤井 計一五〇 九月一日
草野、内郷本籍者 計一六
〇 同日内郷入寄留者一
二四(以上)

春蘭の出走り
六圓廿錢

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

平町の初取引
石城地方の春蘭は愈々出廻り
期に接し来る十七日頃からの
取引盛期と見られてゐる去る
十一日南町木村商店に飛び
れた早期の八圓目ほどの取
引あり十貫目六圓二十錢の判
合と云はれる高値であつたが
云ふまでもなく御祝儀相場で
標準にはならないが今年の春
蘭は一般に成績良好で糸量も
豊富らしく大休この程度を唱
へるだらうと云はれてゐる

消防講演

井上平組頭山形へ

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

平消防組頭井上茂作氏は山形
縣に於て来る七月二日長井高
等女學校講堂に備される同縣
消防幹部會の講演を森山警
察部長から招請され同講演か
た、近く山形へ來遊すると
出府する

五名の暮しが

給仕の稼

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが
本年春前記茂君が負傷の爲め
勞働不能となり中學四年まで
進んだ二男を中途退學させ同
人を丸通の給仕に入れた僅か
數圓の給料で心臓病に罹る母
を合せて五人の糊口を溘いで
ゐるので附近の同情に援けら
れつゝあるも窮狀を見兼ねた
木澤區長外四名は今十三日午
前十一時町役場に右の事情を
述べ軍事救護方の懇願をなす
所あつた

救濟方を願出る
平町古鍛冶町七邊田茂七(五)
さん方では同町丸通運送會社
のトラック運轉手を勤めてゐ
た長男茂君が立川飛行隊に入
隊後細き家計を立てゝゐるが

病原の常識

副業の常識 (二)
東農大出身 鈴木技師

菌とは本病發生に最も密接な關係があると云つてゐる。その何れにしても細菌又は細菌性物質によつて發生すること明らかである。

而して發生した鶏舎並に附屬物に就ては消毒薬で消毒するのみならず熱湯や日光に晒らして完全に消毒するのである。運動場に対しては石灰乳が都合がよい、斯くして消毒した後二ヶ月位経つてその鶏舎に初め若干数を入れ發病しなかつたら全部を移すのである。近所まで流行してゐる時は自分の鶏が如何に健康でも至急豫防注射を行ひ且つ商人參觀人を一切遮断することが大切である。

二、ジフテリア

本病は病の限局した場所によつて『のどけ』とか『はなけ』とか云つてゐる。又中村博士によると呼吸器系統(喉頭氣管氣管支)等に現はれた徴候に對して『るーぶ』と云ふ名稱を附してゐる本病は前者の如く猛烈急激に併かも一時的に流行しないが鶏地には常に流行して絶へず次から次へと傳播して養鶏家を苦しめ其の損害高に於ては決して前者に劣らないのである。自分も此の石城郡に於て随分これを見たことがある。本病は雞に發生した場合は勿論大害を與へるが成鶏も之れに胃される。と産卵が減少するか又は停止し遂に衰弱して斃死するものである。

一、原因、未だ確實には研究されてゐない、中村博士によると病の初めに病變部の分泌物に存在する、コッパチルス(細菌)と病變部の古い分泌物中にある大腸

傘日ルソラパ

ヤルツ

〇四一話電四平

天然加里肥

安價で効果的な
最も適應する作物!

蔬菜 馬齡者 里芋 しやうが類
◎茄果類ではトマト 茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を興へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◎如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶対にありません

一俵 參拾錢
(大量取引は特に割引致します)

製造販賣 金成國雅
平町鎌田 電話六八八番

債券 公債 両替 金融
多田井質店
平町大工町 電話五九一番

磐城共濟病院

(一四六話電) (四三二話電)

内科	小兒科	外科	皮膚科	性病科	産婦人科	耳鼻咽喉科	X光線科	物理科	衛生試驗所
局長醫學博士	局長醫學士	副院長醫學士	近馬勇二郎	有馬勇一	石山謙	石山謙	石山謙	石山謙	石山謙
佐久間粹郎	有馬勇一	近馬勇二郎	石山謙	石山謙	石山謙	石山謙	石山謙	石山謙	石山謙

お醤油は ヤマフル

醬油 味噌
たひら正宗
鯉節食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話 本業部 二一七〇番
支店部 二一七〇番

明治生命 代理店 山崎與三郎

油問屋 關内油店

ガソリン
モビール油
日本株式會社
石油株式會社

特約販賣
電話長 16
磐城平

貸手車

新規物を
格安にお
譲り致します

淋病最新藥
美神淋藥
一週分 四、五〇〇
二週分 八、〇〇〇
代理店 平町

山邊邊藥局

朝日煙突

石綿セメント製
朝日煙突

煙突は
程す晒に露雨

絶対に
ほげない!!
ゆけない!!
くさらない!!
経済的で
美觀の心配ありません

金屋商店

平町山崎 電話五二三番

お手不足な御家庭に家政婦を派出いたします

本會は
お互に働きませうと云ふ健氣な婦人同志が相寄つて皆様の御便宜を勤めます爲に出来ました団体です

!!ご利用下さいませ!!
妊産婦の御家庭、御病人の御家庭
お炊事や雑用、お留守居番
お年寄やお子供さんの付添

親切に
丁寧に
料金は一
ご面談の上お望みに添ふ様
ご経済的にご相談致します

平町字紺屋町二
電話(呼)六五二
上原家政婦會
會長 (産婆) 上原通子

食堂の一部

勉強振りを御覽下さいませ

新しいわき新聞社

一般印刷物も御引受致します

ランチ四品付五十錢 定食五品付 壹圓
西洋料理 ボタン
支那料理 ボタン
電話 五七六番